

IOWN INTEGRAL

NTT R&D FORUM 2024

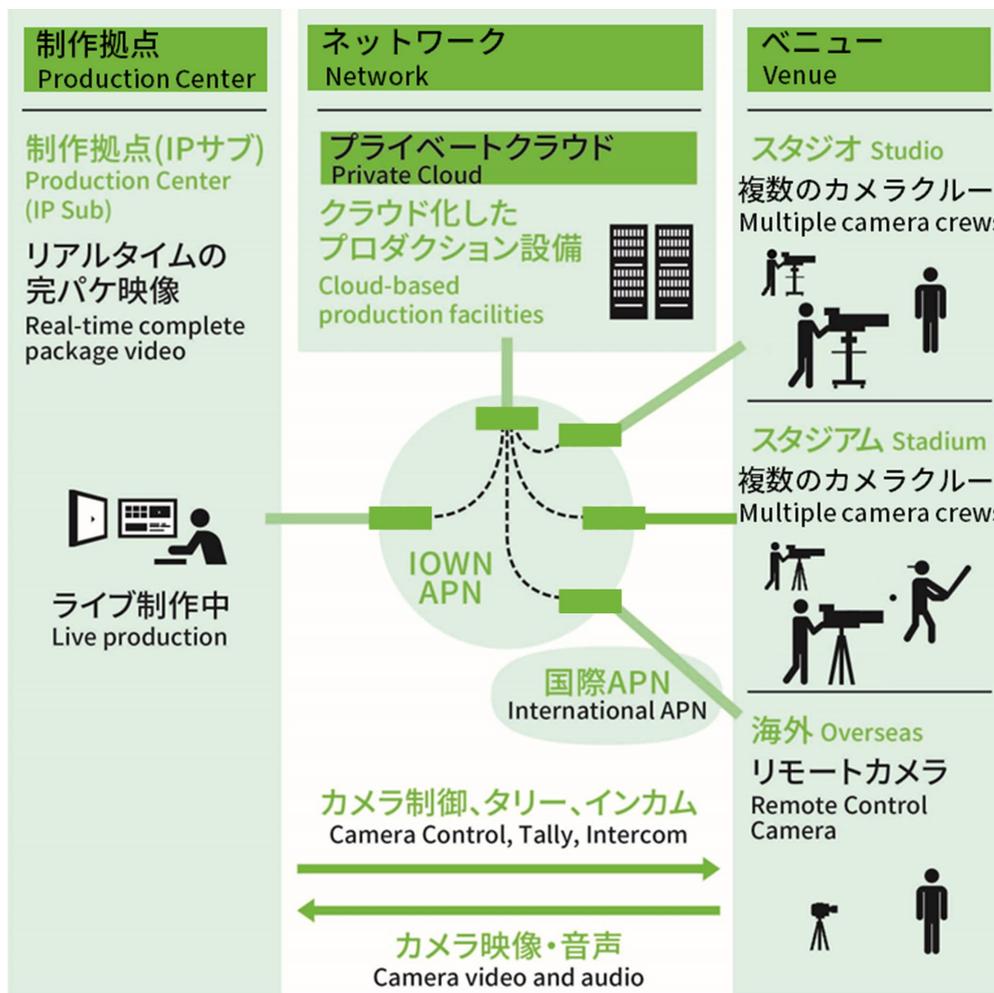
DEVELOPMENT

δ 03-07

IOWN×映像プロダクションDX

映像制作設備のネットワーク化・共有化・クラウド化を通じたコンテンツ制作のDXをめざします

#業務効率化



///技術課題

近年、ネット系メディアにより映像コンテンツ事業の競争が激化しており、高品質なコンテンツの開発と業務効率化が必要です。

///研究目標

多数の撮影現場と制作拠点をつなぐ多拠点間の広域接続ネットワークを実装します。

---要素技術

映像コンテンツ制作の高度化や運用費・機材費・環境準備時間の最小化の課題に対して、大容量・低遅延・遅延揺らぎなしの特徴を持つIOWN APNにより、多数の撮影現場と制作拠点をつなぐ多拠点間の広域接続ネットワークを実装

---市中技術差異点

- ・ 非圧縮／軽圧縮の4K/8Kクラスの映像を複数同時に大容量・低遅延通信で伝送
- ・ 遅延揺らぎなしの通信により高品質なPTP同期・冗長化が可能

---適用ビジネス

映像制作分野において、リモート映像プロダクション／バーチャル映像プロダクション／スマート映像プロダクションに適用（2026年頃）